

TAKE FREE

創刊号

MOVE

心が動くまちKOIWA



MOVEは、小岩の暮らしがもっと楽しくなる情報をお届けするフリーペーパーです。

2022 # 001

YOSHIAKI YOSHIDA

ワタシのコイワ

南小岩コミュニティ会館



ここもかつては映画館だった。
「悪漢バスコムを観たのが思い出。」

■吉田 義昭

フラワーロード商店街の魚屋「魚清」には、新鮮な刺身や手作りの弁当・惣菜がずらりと並ぶ。小岩駅前にあった肉屋の娘さんだという女将が仕込むカレーもおいしい。



■橋本 康利

郷土史に造詣が深い。趣味は読書で「本がなかったら僕は死んじゃう」と自ら語るほど。小岩で好きな場所は水天宮。「昭和通りの発祥で、僕の父も誘致に関わった。」

ワタシのコイワ

水天宮



不況の中、商売繁盛のご利益がある水天宮（日本橋蛎殻町）から御靈分けした

ワタシ and コイワ

001

MOVE創刊にあたり、「長年小岩をリードしてきた人から話を聞き、もっと小岩を知りたい」。そんな思いで、小岩の歴史やまちの変遷、今後期待することなどを伺います。第1回は小岩駅南エリア商店街の皆さんにインタビューしました。



市です。小岩用水（今の小岩中央通り、中央通り五番街あたり）に板を張り、ありとあらゆる商売をやっていました。あの頃は

震災と空襲を逃れた小岩

小岩に人が増えた理由のひとつは、関東大震災です。浅草から向こうが焼失したのに対し、小岩は被害が少なかつたんです。私の父も幼少期、震災で家を失つて小岩にきました。そんなふうに小岩に移り住んだ人がたくさんいたわけです。

もうひとつの理由は、第二次世界大戦。小岩は空襲で焼けなかった。私の父は海軍でした。が、戦争が終わり、海外の戦地から横須賀に帰国し、焼け野原を電車に揺られながら、もうダメかなと思っていたら奇跡的に小岩のまち全体が残っていた。ものすごく感動して言っていました。

戦後から昭和40年代の賑わい

それで終戦後、小岩には多くの人が集まり、たくさんの商店街ができました。象徴的なのがベニスマーケット、いわゆるヤミ

小岩に「人が集う場所」を

残念なのは、今の小岩に「人が集まる場所」がないこと。昔みたいな映画館もそうだし、大型の文化施設やスポーツ施設など、住民同士が交流できる場があるといいであります。商店街の若手の会やKOKITTOなどとも力をひとつにして、良いまちづくりをしていきたいです。

昭和レトロと新たな文化が融合したまちを

これからは若い方のパワーをどんどん活かしてもらいたいです。現代風の店がどんどん入ってきて、一方で昭和通りにあるようなレトロで小規模な商売もきちんと残つて、それらが融合した魅力的なまちになつてほしいです。そうなると信じています。

小岩はラッキーなまち

小岩は、関東大震災後にどつと入ってきた方々がずっと住み継いでいるんです。空襲にもあわなから人命も財産も残つた。非常にラッキーです。だから下町情緒があって、誰と話してもすぐに仲良くなれるし、安心してお付き合いできる。飾らない、庶民的な感覚が小岩の魅力です。

外で遊ぶことが楽しかった幼少期

私は現在91歳、ずっと小岩で生活してきました。小さい頃は今の中通りが小岩用水という川で、いろいろなものを獲つて遊んでいたのを覚えています。トンボにセミ、食用ガエルなどがたくさんいたし、雨が降れば魚獲り、夜は蚊を食べに集まつたコウモリを竿で叩いて落とす遊びをしていました。自然がいっぱい、遊びには事欠きませんでしたね。



YASUTOSHI HASHIMOTO

南小岩昭和通り商店街 相談役

SHIGERU TANAKA

大正末期に私の祖父は、小岩駅北口から北口一帯、京成小岩に至る区域、25万坪の耕地整理の開発に従事し、広い範囲で整然とした区画を作りました。また父は、昭和44年より駅前広場を始めとした小岩駅北口の開発に携わり、尽力しました。そして私も自身も現在、JR小岩駅北口地区市街地再開発組合の理事長をしていますので、3代で小岩の発展に関わっています。

3代にわたり小岩の開発に携わる



ワタシのコイワ

サンロード商店街



かつてはバスが通れないほど賑わった。
再開発で拡張する予定。

■田中 茂

祖父の代から90年以上続く不動産会社を、サンロード一番街商店街で営む。小岩の好きなところは「個人商店が多くて物価が安く、掘り出し物が探せるところ」。



時代の流れと商店街の変化

かつて商店街は生活の中心で、生鮮や衣料品など物品販売の店が多くありました。ピークは昭和40年代、その頃サンロードには歩道がなく、人があふれてバスが通るのもやっと、という賑わいでした。区役所（小岩事務所）や警察、図書館など区の施設がこちら側にあったので、フラワーロードより賑やかだったという人もいるくらいです。

それが徐々に店も減り、さらに今回の再開発で一番街商店街は道路を拡張するため建物の建て替え・解体や廃業で非常に衰退しています。再開発の完成が待たれるばかりです。

これからの小岩と商店街

不動産業を営んでいるので、交通の便が良くて家賃も安く、さらに再開発が進む小岩が「暮らす場所」として注目されていることを肌で感じます。新しく住み始める方は、社会人一年目の方や、若いファミリーが多い印象です。再開発が完成するまでまだ10年くらいかかりますが、南北の商店街や自治体で連携しあい、小岩のまち全体で賑わいを取り戻したいと思います。

小岩との関わり、

葛飾区亀有から小岩へ

私は葛飾区亀有の出身で、結婚をきっかけに小岩で暮らしはじめました。言わばよそ者だったので、地元民同士の「何中出身?」という会話に入つて行けなくて:(笑)。まずは道路、つまり商店街を覚えて土地勘を付け、お店に入つてみることから始めました。下町ならではの距離感の近さで温かく応対してくれるのがありがたかったです。

地蔵通り・中央通りの魅力を伝えたい

そんな小岩ですが、未だに「ちょっと怖い・危ない」というイメージがあるようです。特に地蔵通りは「子どもは通つてはいけない」などと言われていた頃もありましたが、今はだいぶ健全になり、女性のグループ客も多いです。おいしい店やせんべろもあって、安心して楽しめることをもっとPRしなければと思っています。

商店街には「お地蔵くん」というキャラクターがいます。身長5cmで、特技は縁を結ぶこと。かわいいですよ。その由来になつたお地蔵様は、今は東養寺というお寺に保管されているのですが、「もう一度商店街に設置したい」というのが、私たちの悲願



■富永 浩司
小岩中央通りで焼肉店「東海苑」を営む。妻が小岩出身だったことから小岩に住み始めた。「ジャージやエプロンでちょっとそこまで出かけられる」のが小岩の好きなところ。

ワタシのコイワ

東養寺 延命地蔵尊



かつては地蔵通り（今の業務スーパー裏あたり）にあったという。



HIROSHI TOMINAGA

小岩地蔵中央通り商店会 会長 / 株式会社東海苑代表 取締役

KOIWA ジャーニー

インド・ネパール

まちを理解するには、まず食から！多様性のまち「小岩」は、多くの外国人が住み、暮らすことでも知られています。現地さながらの料理が食べられるのも小岩の魅力。さあ、KOIWAを旅してみよう！

撮影協力 / 宇城 義二



老舗ネパール料理店で味わう
野菜たっぷり「おふくろの味」

オーナー ウルミラさんの家庭に伝わる料理を提供。一番人気は、ネパールの国民食とも言われる「ダルバート」。スープやカレー、青菜炒めなどを、ご飯に混ぜながら食べる。豆を挽いて作った生地を香ばしく焼いた「ウォー」は、ネワール族のごちそう料理。中から半熟の卵がトロリ。



サンサール小岩店

店頭では野菜など食材販売も ●江戸川区南小岩 5-18-16 ニューシャトレ 103
●03-5668-3637 ●11:00 ~ 14:30 / 17:00 ~ 23:00 ●年末年始休

- 1 ネパールランチセット（ダルバート）1,150円
2 ウォー（ネパール風お好み焼き）650円



本場の雰囲気を満喫できる「ガチネパール」な料理店

インドカレーは出さず、ネパール料理だけで勝負する店。キビの粉をこねて作るそばがきのような「ディロ」や、現地で人気が高い「ブトン」など、ポカラ出身のオーナーが作る珍しい料理で旅行気分が味わえる。インパクト満点の壁画は、オーナーが自分で描いたもの。



NEPALI CUISINE

HUNGRY EYE Dine & Bar
(ハングリー・アイ)

月替わりのスペシャルセットも人気
●江戸川区東小岩 5-5-5 1F ●03-6336-6115 ●11:00 ~ 15:00 / 17:00 ~ 22:00 ●月曜休

- 3 もちもちディロセット 1,890円
4 ブトン（羊のホルモン）900円



20種類以上のスパイスを使う 本格ビリヤニと南インド料理

インドの細長い米 バスマティライスを、スパイス、肉と何層も重ね、密閉して炊き上げる「ビリヤニ」の専門店。立ち上る香りとパラリとした食感を楽しみたい。小岩では珍しい南インド料理も。バナナの葉にさまざまな料理を盛り付けた「ミールズ」は品数が多い豪華版。



ビリヤニハウス

リーズナブルなビリヤニランチも有(1,100円~) ●江戸川区南小岩 8-9-4
●03-6657-8094 ●11:00 ~ 22:00 (21:30L.O.) ●年始休

- 5 ビリヤニセット 1,485円
6 南インドミールズセット 1,980円

古今東西南北小岩

JR総武線と柴又街道を境として、東西南北きれいに分かれる小岩。知っているようで意外と知らない「小岩」の古今東西をご紹介します。

東小岩

小岩神社の
茅の輪くぐり



写真提供：都築 敏行氏

小岩の氏神様として名高い小岩神社。その歴史は古く、創建は室町時代にまで遡るといわれる。「撫でると足のけがや病気が治る」ことで有名な「わらじ石」があり、たくさんのわらじが供えられているのがおもしろい。境内には浅間神社、日枝神社、三峰神社などの摂末社（本社と別にある規模の小さい神社）が計7つあり、神社巡りの気分が味わえる。

小岩神社の年中行事として有名なのが「茅の輪くぐり」。茅（ヨシなどの植物）を束ねて作った輪をくぐることで、罪や穢れを祓う神事だ。小岩神社では年2回、6月の夏越祓と12月の師走祓のころに茅の輪が設置される。

参拝する時は、まず茅の輪の前で一礼。それから、左回り、右回り、左回りの順に3回輪をくぐる。年末には茅の輪くぐりで心機一転して、新しい年を迎える。（小岩神社 江戸川区東小岩6-1-15）

東小岩

おおとり
大鷲神社の
西の市



写真提供：家森 健氏

西の市とは、毎年11月の酉の日、全国の神社やお寺で開催されるお祭り。商売繁盛の縁起物である熊手が売られることで有名だ。

そんな酉の市を小岩で開催しているのが、東小岩の大鷲神社。こじんまりした神社で、境内も決して広くはないものの、重厚感のある趣深い造り。酉の市の期間中は、千葉街道に面した入口から境内までの通路に並んだ縁起熊手が煌々と照らされ、多くの人が賑わう。

さまざまな縁起物が飾られた熊手は、見ているだけでも心がはずむ。2022年は、一の酉（11月4日）、二の酉（16日）、三の酉（28日）に開催予定。（大鷲神社 江戸川区東小岩5-11-17）

エリアや世代にとらわれず、オール小岩で盛り上げる

小岩本氣青年会 会長



福島 大輔

小岩本氣青年会（通称本氣会）の会長を務める。同会は、小岩の再開発をきっかけに結成。町会や団体の垣根を超えた、新しいスタイルのまちおこしを目指している。小岩のおすすめグルメは「他では味わえない独特の食感」だという「福福」の餃子。

小岩は、中心に総武線がありますよ。線路を境に南北の行き来がしづらいので、これまで南北の交流が少なかった。商店街が便利だったり町会の催事が盛んだったりと地域の力が強く、行き来しなくとも十分だったこともあります。ただこれからは再開発でまちが大きく変わる時。新しく住み始める皆さんに小岩の良さを知つてもらうためにも、北と南を小岩を本当の意味でひとつの中にするきっかけを作ることが私たちの目的です。

福島さんの思う小岩の良さとは？

住民たちの一体感、つまり「まちを自分たちで盛り上げ、自分たちで作っていく」意識が高いことです。私も、祖父や父が地域と関わっているのを見てきたので、抵抗感が全くない。先輩方も積極的に若い世代の意見を取り入れてくださり、全世代が一丸となつてまちづくりに取り組んでいます。

本気会ではイベントも開催していますね。

2018年から年1回、チャリティーアイベントを開催していますが、ここ数回はコロナで実現できていません。202

2年3月には、南北の商店街に加えJR小岩駅も参加するイベントを予定していましたが、残念ながら中止。来年3月に実現すれば、小岩の歴史で初の南北合同イベントということになりますね。

小岩で暮らす方に一言！

まずは小岩のまちに興味を持つてもらいたいです。地域の催し物に参加して楽しむだけでも、愛着が湧くのではないかでしょうか。そして、まちを盛り上げることに興味を持つていただけたらとても嬉しいです。本気会の仲間になりたい方も大歓迎ですので、イベントなどでぜひ声をかけてください。



父が確立した小岩の焼き物を「自分らしく」「受け継ぐ

甲和焼芝窯+nicorico / 江戸川区伝統工芸会 陶芸家



林 理子 Instagram @nicorico.ayakohayashi

2005年より陶芸家の父（甲和焼芝窯 林信弘）に教えを請い、2008年より本格的な作陶活動をスタート。自らのブランド「nicorico」は、手にとって使って、思わず「ニッコリ」笑顔になって欲しいという思いを込めた。（工房兼ショップ 南小岩8-20-10 1F）

——陶芸を始めたきっかけは？

父から継いでほしいと言われたことは全くないんです。私は建築を学び、大学の施設管理部署で働いていましたが、ある時父のホームページを私が制作することになつて。父から話を聞いたり本やネットで調べたりするうちに、改めて陶芸の奥深さを知り、どうしてもやってみたくなりました。最初は趣味のつもりでしたがのめり込んでしまい、仕事を辞めて陶芸家として本格的に活動することになりました。

——カラフルでかわいい器ですね。

ドットやストライプが好きなんですね。

——うまいやる方法を考えがちで、陶芸家として本格的に活動することになりました。

——カラフルでかわいい器ですね。

——ドットやストライプが好きなんですね。

——うまいやる方法を考えがちで、陶芸家として本格的に活動することになりました。

——甲和焼とは？

小岩の土を父独自の方法で精製した「甲和土」を使って作る、唯一無二の焼き物です。東京の土は焼き物に向かないと言われますが、小岩で生まれ育ちここに工房を建てた父の熱意が込められています。



——甲和焼を始めて17年。甲和焼の二代目として、小岩の土を自分の作風にどう取り込み、独自性を出すかが今の目標です。私は甲和土を彩色に使ってます。鉄分が多いので金属質な照りが出ておもしろいんです。

——小岩で暮らす方に一言！

路地裏や、ちょっと離れたところまで散策すると、長年住んでいる私でも知らない場所や、隠れた名店が見つかります。個人店のベーカリー・やケーキ屋さんにおいしいところが多いのが嬉しい。ぜひ小岩のまち歩きを楽しんでください。

お気に入りの店やスポット、おすすめの過ごし方、自分らしいライフスタイル。
100人いれば100通りの「小岩の歩き方」があります。
創刊号では、小岩に新しい風を吹きこむ4人から、小岩への思いを聞きました。
わたしの小岩の歩き方

わたしの小岩歩き方

創刊号ver.

アヤス HR 合同会社代表 / アヤスカフェ小岩オーナー



野村 綾 Instagram @ayasucafekoiwa

某大手企業の人材育成講師業とカフェオーナー、二足のわらじで活動。東・西・南・北小岩、全ての住所に住んだことがあるという生粋の小岩っ子。店名の「アヤス」は赤ちゃんを「あやす」にちなんでおり、子育て世代に親しまれている。(アヤスカフェ小岩 南小岩 8-11-8 1F)

YOUTUBE の撮影中、「コイデラ ですよね」「いつも見ています」と声をかけられることができてきました。フォトコンテストを開催したり、本を出版したり、「小岩の店でアイドルがパイを焼く」というイベントを開催したり、思いついたらやつっちゃえ、という気持ちです。

この活動を始めたきっかけは、父が高齢になり地元に戻ろうか悩んでいたとき、小岩の再開発が始まったのが決め手になりました。まちが大きく変わったことで、自分がやってきたエンタメのスキルを活かせばおもしろいことができる。テレビで取り上げられるような「怪しい小岩」ではなく、本当の姿を知ってほしいという思いもありました。

小岩に戻ったとき、「活気がないなあ」と感じてしまつたんです。私の記憶では、小岩は老若男女たくさんの人があいて、お祭りや縁日が盛んで、賑やかなまち。あの光景を取り戻したいという気持ちが根底にあります。

アヤスカフェはどんなお店?

はたらく世代のためのカフェ。「ワーキングスポットとして仕事ができるほか、「子育ては人生で一番大切な仕事のひとつ」という観点で育児サポートに力を入れています。起業したい方や、「何かやりたいことを発見したい方」を応援する場所でもあります。

どのような経緯で開店したのですか?

フリークスのころ、巷のカフェでパソコン仕事をしていると、ぐずる赤ちゃんを抱いて申し訳なさそうに出ていくママが多く、代わりにあやしてあげたことも。ちょうど人生の後半をどうするか考えていたことも、「子育て中のママが気兼ねなく来られる店を作ろう」と思い立ちました。

私自身、子育て中は社会からの断絶を感じたものです。皆にそれぞれ役割があることを伝え、さらに「こうなりたい」というキャリアイメージに繋がるような居場所。そこで「はたらく世代」というコンセプトが固まりました。

野村さんにとって小岩の印象は?

一步踏み込んだ親切が当たり前で、それを他の方へ繋げて

「やりたいことが見つかる」小岩のパワースポット

小岩コンテンツプロジェクト実行委員長



松岡サラサ Instagram @koiwa_dx

映画会社や雑誌編集、アプリ・動画制作などエンタメ業界での経験を活かし、コンテンツによって小岩のまちの活性化を目指すプロジェクトを立ち上げる。YouTube チャンネル「小岩デラックス」運営、2022 年には書籍「ラブユー小岩レトロ」を出版。

活動を始めて2年になりますね。

YOUTUBE の撮影中、「コイデラ

ですね」「いつも見ています」と声をかけられることができてきました。フォトコンテストを開催したり、本を出版したり、「小岩の店でアイドルがパイを焼く」というイベントを開催したり、思いついたらやつっちゃえ、という気持ちです。



これからどんなことが

したいですか?

若い店主や団体と繋がりたいです。私が探せていないだけで、頑張っている方、おもしろい方がたくさんいるはずで、そういう点と点を結んでいくのも私たちの役目。一つの店だけではできないこと

も、集まればパワーが出てくると思うんですね。

小岩で暮らす方に一言!

クセのある人もいるけれどマイナスな意味ではなく、本来の人間味があっておもしろい。小岩を感じたかったらぜひ、個人の居酒屋に入つてみてください。私のおすすめは、地蔵通り「植むら」の「名物満満焼」。これぞ小岩というB級グルメが体験できます。

常時ネタ探しをしているので、小岩のおもしろそうな情報があれば「小岩デラックス」のインスタやツイッターにタレコミお待ちしています!



小岩で暮らす方に一言!

いく文化があるまち。私も出産直後、ご近所の先輩ママから食事を差し入れてもらい、涙が出るほどありがたかったものです。地元愛の強い方が多く、子どもたちは両親だけでなく祖父母や地域の方からも愛情を受けて育っています。礼儀正しくあいさつもできるお子さんが多くて気持ちがいいですね。



ギリギリ都内」なんて言われますが、交通の便が良くて、実は有名人も多く住む小岩。アヤスカフェにも素敵な人がたくさん集まります。何が始めたい方、おしゃべりしたい方、もちろん食事や喫茶だけでも、ぜひ遊びに来てください。

MY KOIWA Style

小岩でおすすめのお店やスポットを紹介する投稿コーナーです。

第1回は、小岩駅南口「KOITTO TERRACE」のスタッフが "MY KOIWA style" をご案内します。皆さんもぜひ、小岩のお気に入りを教えてください。

あなたの "MY KOIWA style" を教えて！

右の QRコードより投稿が可能です。また、KOITTO TERRACE カウンター（南小岩7-24-20 FIRSTA I（ファースタ）1階・10:00-17:00 水・日曜休）でも受け付けています。

あなたの好きな「小岩」を教えてください。



MOVE 読者投稿フォーム

01 蕎麦天ぷら鴨 京屋

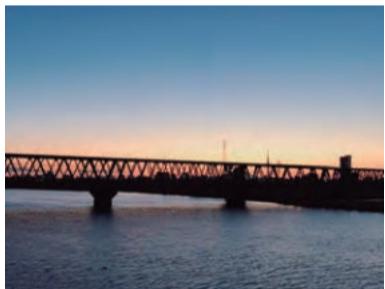


江戸川区南小岩 7-11-21
営11:30-15:00、17:00-21:00 ☎03-6761-7509 (火曜)

開店1年を迎えた蕎麦屋。その日使う蕎麦粉の産地を表示するなどこだわりたっぷり！お酒も全国の逸品が揃います。お酒とおつまみ、蕎麦がセットになった「晩酌セット」やしっかりしたコクがありながら臭みがない「岩手県産の焼き鴨」がおすすめ。

(トシ／KOITTOスタッフ)

02 江戸川の土手



小岩在住40年の私が、日々の散歩コースとして昔からよく歩くお気に入りの場所です！気分が晴れず悶々としている時も青空や川を眺めながら歩くと不思議とスッキリします！夕方に眺める江戸川や市川大橋も素敵ですよ！

(ハナエ／KOITTOスタッフ)

03 京成線江戸川駅



小岩の最北端エリア、北小岩住宅街にある駅です。小さな駅ですが土日は土手でスポーツをする人々で溢れ、花火大会の日は最寄駅として大活躍！羽田空港や成田空港に行くにも便利な駅です。日暮里までラッシュアワー時でも座れることが多いのがおすすめです。

(ワカナ／KOITTOスタッフ)

04 江戸川花火大会



小岩では自宅から見ることができる人も多く、ワタシの家のベランダからも。毎年お寿司と枝豆とビールを準備して家族が集まる一大イベントなのです。新型コロナウイルスの影響で中止が続いているが、来年こそはと楽しみにしています！

(ミヤ／KOITTOスタッフ)

江戸川区南小岩 6-26-19
営15:00-24:00 ☎03-3658-4972 (火曜)

小岩に住んで4年、銭湯の魅力にハマりました！こちら照の湯さんは、昭和の香り漂うTHE銭湯。お風呂も良いですが、お気に入りは脱衣所で、昭和トリップ間違いなしです！小岩は色々な銭湯がありますので「My KOIWA 銭湯 Style」をぜひ見つけてみてください。

(カト／KOITTOスタッフ)



KOIWA YAKUZEN ♥ A
(ハートのエース)

編集部が行く！
体質に合わせてブレンドする薬膳茶ワークショップ

小岩のワクワクを日々探し求める編集部が、気になるコトを体験レポート！ 今回は、季節の変わり目の健康管理にも役立つ「薬膳」を学んできました。

「女神のお茶会」と銘打ったワークショップ。まずは薬膳の基本的な考え方（陰陽五行や気血水）についてのレクチャーを受け、簡単なテストで自分の体質をチェックします。



そしていよいよお楽しみタイム。目の前にずらりと並んだ20種類以上の茶葉や生薬をブレンドし、オリジナルの薬膳茶を作ります。効果・効能の一覧表を見ながら選んだり、見た目や味の組み合わせを重視して組み合わせたり…。作っては飲み、ブレンドすることを繰り返し、お気に入りが決定したらティーバッグに入れて持ち帰ることができます。

締めくくりは♥ A 自慢のお料理で。この日は薬膳デザート（豆花と梨のソルベ）をいただきました。とても本格的な味わいにも関わらず、作り方は簡単。レシピも教えてもらい、大満足でした。



季節に起こりやすい不調が、その季節の旬の食べ物と対応しているところが興味深く、もっと薬膳を勉強したくなりました。子育て最優先で、自分自身は落ち着いて食事することすらできないことに気づかされ、食生活を見直したいと思います。（ワカナ／KOITTOスタッフ）

薬膳茶ブレンドワークショップ「女神のお茶会」は、2~5名のグループでご予約可能。季節によって内容が変わります。お問合せは KOIWA YAKUZEN ♥ Aまで。

KOIWA YAKUZEN ♥ A (ハートのエース)

●江戸川区南小岩6-12-20 セジュールプラン1F

●03-6801-7709 ●日・月曜休 ●http://koiwa-yakuzen.com



編集後記 「MOVE～心が動くまちKOIWA」創刊にあたり

小岩のまちは今、大きな変化の最中にあります。ここで昔から暮らしている人、新しく住み始めた人、さまざまな人やまちの情報を知ることで「自分らしい小岩のくらし方」を見つけてほしい。そんな思いで「MOVE～心が動くまち KOIWA」を創刊しました。当たり前だと思っていた小岩の姿も、他の人が見たら新鮮に感じるかもしれません。「MOVE～心が動くまち KOIWA」が小岩を再発見するきっかけになれば嬉しいです。

創刊号では、小岩駅の南側エリアを中心に取り上げました。次号は、北側エリアに注目してお届けする予定です。

「MOVE～心が動くまち KOIWA」は、KOITTO(一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント)が年2回企画・発行するフリーペーパーです。

MOVE ~心が動くまち KOIWA # 001 2022年10月発行

企画・発行 一般社団法人小岩駅周辺地区エリアマネジメント (KOITTO)
〒133-0056 東京都江戸川区南小岩7-24-20
FIRSTA I (ファースタ) 1階 KOITTO TERRACE (コイットテラス)
TEL 03-6657-8007

編集 まいぶれ江戸川区 (株式会社京葉十二社広告社)
印刷 有限会社ケイ・アイ・シー